

# ステークホルダーコミュニケーション

## 基本的な考え方

当社は、経営理念に「人々の暮らしを安全・快適にする技術や製品を提供し、社会に貢献する」ことを掲げています。本理念を実行していくため、「1. 規範を遵守するとともに、何事にも真摯に向き合うこと」「2. 高い目標に挑戦し、より活気あふれる企業風土を築くこと」「3. 優しさと誠実さを保ち、自然を愛し、環境を大切にすること」「4. 常に独創性を追い求め、お客様・株主様・お取引先様・社会の発展に貢献すること」、これら4つの精神に則り、すべてのステークホルダーとの対話を深め、当社をより理解していただけるよう努めています。対話を通じ、取り組むべき課題を明確にし、一つひとつ真摯に向き合い解決していくことで、皆様の信頼、期待に応えていきます。

また、自らの改善に努め、絶え間ない独創的・革新的な研究開発により高められた技術力をもとに、人と地球にやさしい製品づくりを通じて持続可能な社会の発展に貢献します。



## ステークホルダーコミュニケーションの実施状況

ステークホルダー	取り組みの姿勢	主なエンゲージメント方法
お客様 (メーカー、エンドユーザー)	お客様の満足する品質を備えた製品とサービスを適時適切な価格で提供することで、社会からの信頼を得られるよう努めていく	電話でのお問い合わせ
		ウェブサイトでの発信
		KYB技報
		KYBグループレポート
		KYB史料館
株主様	株主様に対する事業内容や経営方針、業績の見通し、成果などを適時適切に開示していく	株主総会
		報告書(有価証券報告書・決算短信など)
		株主様向け工場見学会
お取引先様	お取引先様を大切なビジネス・パートナーとして尊重し、共存共栄、信頼関係の構築に努めていく	調達方針説明会
		定期訪問
従業員	労使の共通の基盤である企業の持続的な発展と豊かな社会づくりのために貢献するよう努めていく	労使協議会
		社長メッセージ
		従業員意識調査
		社内報
地域社会	地域社会との連携と協調を図り、ボランティア活動、地域イベントの実施などに積極的に取り組み、地域社会の発展に貢献していく	当社イベントへの招待
		地域イベントへの参加

## ステークホルダーの皆様との関係



## KYBグループの社会的責任

KYBグループは事業活動の中で常に独創性を追い求め、お客様・株主様・お取引先様・従業員・地域社会の発展に貢献することを目指しています。

当社では、経営理念とビジョンに基づいたCSR活動を各部署の年度実施項目に掲げ、実践しています。そして、それぞれの活動を振り返り、改善・改新のサイクルを継続して行っています。

従業員は当社の行動指針を携行し、CSR(企業の社会的責任)の重要性の認識を深めています。

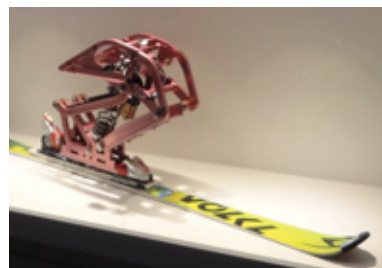
頻度	内容	事業活動との関係
随時	電話およびメールフォーム	お客様ニーズの収集とお客様満足度の向上
随時	会社情報・事業内容の発信	
年2回	技術・製品の紹介	
年1回	財務および非財務情報の開示	
随時	当社製品などの博物館	
年1回	事業報告・連結計算書類、計算書類、監査結果報告、決議事項の審議および決議	対話を通じての企業価値向上
年1回～	株主様への報告	
年1回	工場見学を通じての対話促進	
随時	方針の共有	相互信頼に基づく関係強化
随時	各種打ち合わせ	
年数回	労使による各種協議会などの開催	労使関係の強化 従業員のモチベーション向上
年2回以上	賀詞交歓会、所信表明	
年1回	アンケート調査の実施	
月1回	社内報による情報展開	
随時	工場単位でのイベントの開催	地域社会との共生
随時	地域住民との交流	

## 2018年度の実績

### チェアスキーへの支援活動

2015年度より、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟アルペンスキーナショナルチームのオフィシャルスポンサーおよびオフィシャルサプライヤーとして活動しています。チェアスキー用ショックアブソーバの製品開発だけでなく、チーム合宿や各国で行われるワールドカップなどにおいて技術サ

ポートも行っています。また、強化指定選手である当社従業員の鈴木猛史は、各種レースへの参戦や練習に励みつつ、メディア対応や講演活動を積極的に行っています。今後も選手と一体となって、よりよい製品開発に努めるとともに、社会貢献の一環として、障がい者スポーツの発展に貢献していきます。



### 「かながわサイエンスサマー」に参加

子どもたちに科学技術への興味・学習意欲を高めてもらうために、神奈川県が推進する「かながわサイエンスサマー」に2018年度も参加しました。当社は7～8月に合計3回、小学4～6年生、30名の子どもたちとその保護者を、KYB史料館にご招待しました。当日は、油圧ショベルの工作やミニショベル

の試乗体験を通して、パスカルの原理と油圧のメカニズムをわかりやすくご紹介。楽しみながら学んでいただくことができ、前年に続き大好評でした。さらに、以前参加された方のご要望を受けて、南足柄市役所の家族イベントに初の出前講座も実施しました。



### 被災地支援のためのマルシェを開催

宮城県東京事務所よりご支援いただき、本社にて4回目となる東日本大震災の復興支援マルシェ(物産即売会)を開催しました。2018年度も東京地区以外のKYB各工場において開催し、全社的なイベントとして定着してきました。今後も、震災の記憶を風化させることなく、復興支援を続けていきます。



### 「子供の未来応援基金」への募金活動

子どもたちに寄り添い、草の根で支援活動を行う団体をサポートする「子供の未来応援基金」。当基金への継続的な支援に対し、内閣府より感謝状をいただきました。すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現のために、そして貧困が世代を超えて連鎖しないよう、今後も支援を続けていきます。



### 「東京都共同募金会」への募金活動

社会福祉法人東京都共同募金会より、毎年継続している寄付に対し、感謝状をいただきました。集められた寄付金は、高齢者や子どもたち、障がいのある方々が利用する民間の社会福祉施設や団体へ送られます。今後も共同募金を通して、さまざまな社会福祉事業へのサポートを続けていきます。



### 第17回 KYB全社スポーツ・文化交流大会を開催

第17回KYB全社スポーツ・文化交流大会を「彩の国くまがやドーム」(埼玉県熊谷市)にて開催しました。国内15拠点、海外18拠点のKYBグループ従業員約700名が一堂に会し、8チーム対抗の運動会を楽しみました。年齢・性別・部署・会社・

国籍といった垣根を越え、各チームが団結し、綱引きやリレーなど手に汗握る展開に会場中が大いに盛り上がりました。一番の結束力を見せた開催地の熊谷工場とインドのKCPLの連合チームが優勝しました。



### 小学生向け工場見学会を開催

美濃加茂市立蜂屋小学校の児童96名をご招待し、KYB岐阜北工場の見学会を開催しました。当日は、当社の概況と製品をご説明し、実際の工場内の製造ラインや安全体感道場などをご覧いただくとともに、KYBの環境への取り組みをご紹介しました。皆さんと楽しく交流を深めることができ、見学終了後はたくさん質問や意見をいただきました。今後も、地域とのつながりを大切にしていきます。

